



壮年スポーツ大会（ソフトボール） 令和3年11月7日実施



令和4年3月15日

編集発行

土浦市六中地区市民委員会
文化広報部
土浦市六中地区公民館
土浦市烏山二丁目2346-1
TEL 842-3585
FAX 842-3509

六中地区体育協会事業計画

事業	種目	日程
少年スポーツ	軟式野球	6月下旬
婦人スポーツ	ソフトバレーボール	6月中旬
高齢者スポーツ	ラージボール	11月下旬
	ミニ運動会	9月下旬
体力測定	体力テスト	ミニ運動会と同時開催
壮年スポーツ	ソフトボール	11月上旬
歩く会		2月中旬
グラウンドゴルフ		3月上旬

六中地区体育協会について

会長 佐藤 均

六中地区体育協会は、体育を奨励しスポーツ精神の普及とかん養につとめ、六中地区の皆様の健康と体力の保持・増進を図り、明るい市民生活と健康な社会環境を育成し、六中地区発展の基盤を確立することを目的としています。この目的を達成できるように各年代ごとの種目を考え、一人でも多くの方が楽しく参加してください。この目的を達成するために、役員一同が願っています。

皆さん、六中地区体育協会で開催している行事に参加していますか？一つでも参加してください。参加することにより体力の増進は元より、各地区の交流・団結など、人と人との繋がりもでき、六中地区の活性化にもつながると思います。しか

し、今現在、新型コロナウイルスの影響で、なかなか大人数で集まる行事ができず、感染予防対策をしっかりと行い、一つでも多くの行事が実施できるよう、役員で日々検討していますので、皆さんの参加をお待ちしています。

また、昨年から市民体育祭の在り方の検討を実施していますので、ご協力をお願いします。

最後に、例年行っている年間行事予定を紹介いたします。細部については、各地区配布の大会案内を参考にしてください。



わがまち紹介

右舩三区副区長 菊原 修二

右舩三区は陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地の南西部にあり、約900世帯が居住する地域ですが、アパートの比率が高く町内会への加入は約700世帯となっています。役員は区長、副区長、会計、会計監査2、地区体協、部長8（総務・広報・環境整備・体育文化・安全・敬老・女性・育成）・ブロック長5（班長が兼務）、班長50の計64名の構成です。

この2年間は新型コロナウイルスの感染拡大により、夏まつり・敬老祝賀会等の主要行事は中止せざるを得ない状況になったため、町内の飲食店で利用できるチケット「お年玉プレゼント」の抽選や70歳以上の高齢者に商品券を贈呈する等、密にならない行事の開催に心掛けました。

また、ウイルス感染拡大の収束時には気持ちよく公民館を利用していただけよう、玄関の



公民館の清掃

改修や折りたたみ式の椅子・テーブルの更新、掲示板の増設や公民館の大掃除を実施しました。

今年こそ夏祭りを始め、予定されているすべての行事が開催されるよう心より願っております。

右舩五区地区長 小口 範男

わがまち右舩五区は、右舩小学校を中心に東西に分かれた100世帯余りの小さな町内です。

例年は「夏祭り」、「敬老祝い会」、「市民体育祭」などが行われ、少ない人員ですが、町内の皆さんの行事への参画意識が非常に高く、多くの人で毎年盛り上がっています。

しかしながら、ここ2年間は新型コロナウイルス感染症の拡大により、残念ながら行事を自粛しているところですので、これまでの行事について紹介します。

「夏祭り」は子供育成会が中心となり、たいへん暑い中を子供たちの元気な掛け声とともに子供神輿で町内を練り歩き、ゲームやスイカ割りや、全員参加のビンゴ大会などで大いに盛り上がります。

「敬老祝い会」は公民館で手料理を前にカラオケセットで皆さんで歌い、楽しいひと時を過ごします。

「市民体育祭」では少ない人員ですが、若い世代からベテラン世代まで積極的に複数種目に参加し、一致団結して毎年高成績を残しています。

今後、コロナが完全に無くなる事は難しいと思いますが、その中でも今までの活動を工夫して出来る事に取り組み、活気あふれる町内が戻ってくることを切に願っております。

烏山町内会地区長 青山 良夫

烏山町内会は、烏山三、四、五丁目と3つの行政区で構成する自治会です。その位置は、土浦市のほぼ東南にあり、隣りに右舩地区と阿見町に接する地域です、この3つを合わせた世帯数は約960世帯（人口1950人弱）内自治会員として約730世帯が加入しています。組織構成は、平成29年2月の新公民館の開館時に合わせ、児童生徒の減少及び高齢者の増加という実態を踏まえ、会則を改め8ブロック・61班制に組織改編し、以前にも増してより住みやすいまちづくりに取り組んでいます。

しかし、ここ2ケ年は新型コロナウイルス感染症の影響で防災・火災訓練、夏祭り、敬老の集い、市民体育祭の参加、餅つき大会&クリスマス会等々の恒例行事を中止することとなりました。このコロナも一旦収まりつつありましたが、ここに来てまた新たな変異株の感染拡大の兆しをみせており、またまた町内会の活動等が自粛、制限、中止という状況に追い込まれることが憂慮されます。今は、一日も早く収束し元の状態に戻れることを願う毎日です。

小岩田町会地区長 矢口 隆志

小岩田町会は、花室川に沿って常磐線から大岩田小学校に挟まれた地域にあります。県道土浦竜ヶ崎線に

よって地名が小岩田東・西と別れており、町内地域内に地名と同じ他の町内を含んでいる町内会となっています。

町内には現在約400世帯が住んでいます。が、特色として農家を中心とした旧住民と新しい住宅団地の住民が、互いに助け合い協力して活動しています。公民館・倉庫・神社等がちょうどそれぞれの境にあり非常に便利になっています。

令和2年度からは、残念ながら新型コロナウイルス感染症防止のため、ほとんどの住民が集まる行事・集会等は自粛のため行えませんでした。例年であれば、町内全域を行進し他の町内とも競演を行う夏祭りや、公民館駐車場で行う納涼大会を初めとし、防災訓練・市民運動会参加等の行事を行っています。現在は中止中です。

しかし、新型コロナウイルス中ではありますが、当町内では自営消防団があり毎月点検等の活動を行い、公民館では、有志による将棋・卓球の愛好会が活動を行っています。また、感染状況によって、各団体が公民館・神社等を利用し活動を行っております。

新年度には、新型コロナウイルスが収まり、通常の活動が行えますよう願っております。



チャレンジジグライフ活動報告

後半のチャレンジジグライフの活動は、コロナの影響で、第4回の森林体験が延期、第5回バルーンアート作りと第6回の文化祭が中止となってしまいました。延期した森林体験を含め、その後の活動は、予定通り実施することができました。また、野菜やサツマイモの収穫は、個別に対応し、設定した13日間の収穫日の中で、一人当たり3回は、収穫を楽しむことができました。活動の様子を、クラブ員の感想を添えて報告します。

●林業・森林体験

10月17日(日)

森林体験は、森林の持つ様々な働きについて学習することを目的に行われる、茨城県緑化推進機構の事業です。六中地区のチャレンジジグライフは、毎年参加しています。

今回、当日は、あいにくの雨天でしたが、傘をさして、グループごとに森林を探検し、指導員の方から、森の植物のことや森林の働きについて学びました。丸太切りや木製プランター作りも、子どもたちにとって、初めての体験だったようです。



いばらき県民の森・植物園(那珂市)

◎色々な植物の特徴を知ることができて楽しかったです。丸太切りは、頑張つて最後まで切ることができました。腕がすごく痛かったです。

◎木や花の名前を楽しく学べました。プランター作りは、釘を打つのが大変だったけど、完成できたのでよかったです。

●ティーパーン野球大会

11月6日(土)



ボランティアの高校生との記念写真

霞ヶ浦高等学校硬式野球部の協力です、毎年恒例になっている活動です。

今年は、日本野球機構が推奨するベースボール型ゲームのルールで実施しました。子どもたちは、高校生のお兄さんたちの助けもあり、思っていた以上に上手にできたようで、楽しく活動していました。

◎ボールを力いっぱい打つことができて、友達から「すごい」と言われたのがうれしかったです。アウトになつてしまったこともあったけど、打ったり、捕ったり、走ったりできて、とても楽しかったです。

◎ボールの打ち方や投げ方のコツがわかりました。学校の授業にも生かして行こうと思いました。

●ソーセージ手作り体験

12月4日(土)



日本ハム下館工房にて

六中地区のチャレンジジグライフとしては、初めての企画であるソーセージ作りに挑戦してきました。

思った以上に、力の加減が難しかったりして、子どもたちは、悪戦苦闘していました。青少年育成部の方々の支援が有難かったです。6年

生のチームは、最後まで自分たちの力で頑張ることができました。

◎肉とスパイスを混ぜるとき、すごく冷たくて大変でした。自分で作ったソーセージを、早く食べたいと思いました。

◎羊の腸に肉を詰めるとき、途中で破れてしまったりしましたが、初めての体験で、とても楽しかったです。

●光の万華鏡作り

1月15日(土)

下妻市から、山本眞実先生を講師にお招きして、「光の万華鏡」作りをしました。光の万華鏡は、分光シートを使って、光を色々な色に分解して作る万華鏡です。光の取り入れ口の形を変えると、不思議な光の世界を見ることが出来ます。

◎光を当てて回してみると、光が色々な色に変わって楽しかったです。自分だけの万華鏡が作れたのも良かったです。

◎光の種類によって見え方が違うのがとても不思議でした。



おもしろ理科先生をお招きして

令和3年度 後期講座



簡単！おうちでできる ベーグルとお菓子

講 師：藤田真紀
(マキのパン屋)
受講者：9名



おしゃれな手編みベスト

講 師：松浦あみもの学院
本校講師
受講者：10名



～プロに学ぶ～

背骨・骨盤の歪み改善

講 師：中村博美
(自力整体予防医学指導師)
受講者：10名



ピラティスで～体すっきり～

講 師：高橋めぐみ
受講者：10名



着物をリメイク ＊手縫いで作ろう＊

講 師：國友康代
(縮緬細工工房晏古)
受講者：14名



茨城県の歴史をふりかえる

講 師：国谷直己
(川村学園女子大学講師)
受講者：13名

◆同好会だより

粥柱俳句会

会長 飯村 茂

俳句というと昔学校で習った「古池や蛙飛び込む水の音」そして今テレビで夏井いつき俳人の俳句指導でブームに。俳句の源は短歌五七五七七。その後連歌で五七五と七七を別人が詠みあう楽しさから俳句五七五が生まれ、松尾芭蕉が文学に高め、正岡子規以降四季の行事風物自然を表す季語を五七五17音に詠み込んだ短歌＝俳句は広く普及しています。



私達粥柱俳句会は今年で結成15年。誰でもできる楽しい俳句を目指し公民館で毎月第4日曜日午後、俳句会を行ってあります。指導者は短

歌歌人でもある栗田幸一先生。俳句会は先生が歳時記から前もって選んだ季語兼題句と各人自由を選んで季語句とを提出。先生を含む全員の句を鑑賞し、各人が感銘句を投票。選ばれた句を披露として読み上げます。自分の句が読み上げられた時の感動は忘れがたいもの。また、同じ季語兼題句に対し各人各様の表現句に出会い、語り合いが豊かに。俳句は農業を中心として日本人の生活の文芸、自然との係わりの最も深い庶民の文芸です。日曜日午後の一と時、俳句を楽しみませんか。

■新書 図書案内

THE CATALYST 一瞬で人の心が変わる伝え方の技術	ジョーナ・バーガー
ヴァイタル・サイン	南杏子
老いの福袋 あっぱれ！ころばぬ先の知恵88	樋口恵子
お探し物は図書室まで	青山美智子
ガラスの海を渡る舟	寺地はるな
沈黙のパレード	東野圭吾
ぼくのお父さん	矢部太郎
星を掬う	町田そのこ
闇祓	辻村深月

編集後記

文化広報部長 林 和美

広報紙「つどい」も63号を発行する事になりました。今年のは終息するかと思っていた新型コロナウイルスがオミクロンと名前を変えてやってきました。新型コロナウイルス対策や新しい生活様式が当たり前になっていますが、コロナ前の日常に戻れるでしょうか。今回の編集にあたりご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。文化広報部員をご紹介します。塚原 優・鶴町友之・池田 純・齊藤 学・福田志津雄・小田川俊一・佐藤功平・秋田光恵・荒井知行・野平裕子・若林八千代・田中由香里・根本邦義・日下野実・柴山邦寿・新橋朗世